

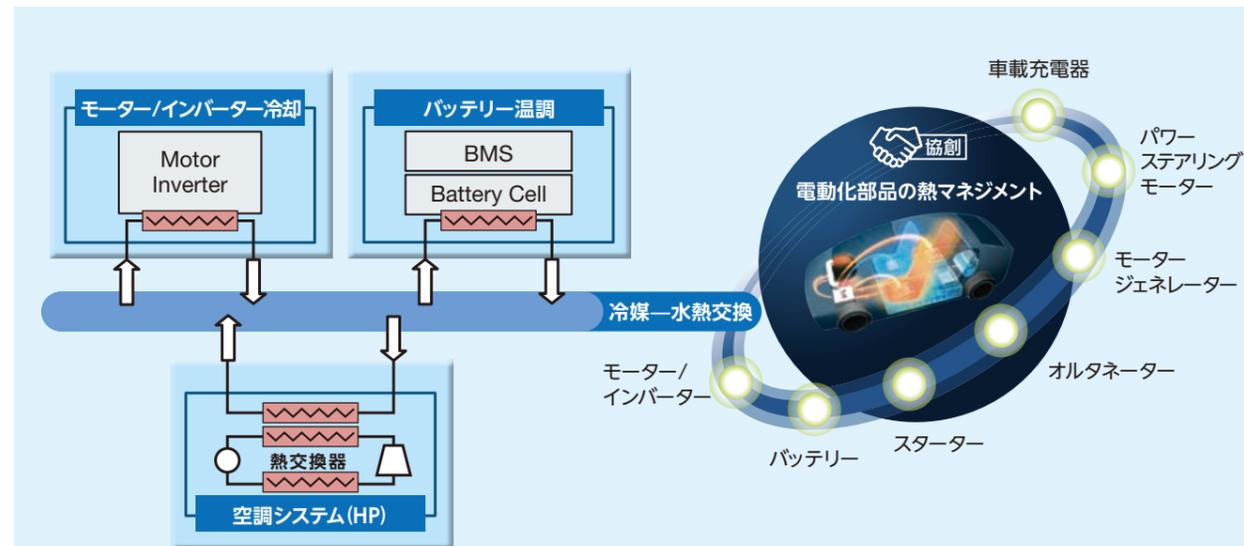
サンデンのSDGsへの貢献

人の生活を豊かにする快適な空間の実現



サンデングループは、中期経営計画SCOPE2023における目指すべき姿として、2030年の社会で「人の生活を豊かにする快適な空間の実現」を描いています。また、「事業を通じたSDGs達成への貢献」を重点項目のひとつとして組み込んでいます。SDGsへの取り組みは、グローバル社会からの要請を受け止め、社会に貢献することを使命としている当社グループにとって必要不可欠と考えています。

EV「統合熱マネジメントシステム」領域に注力



統合熱マネジメントシステム開発プロジェクト
Thermal Management System Development Project

業界最高水準の効率化を実現

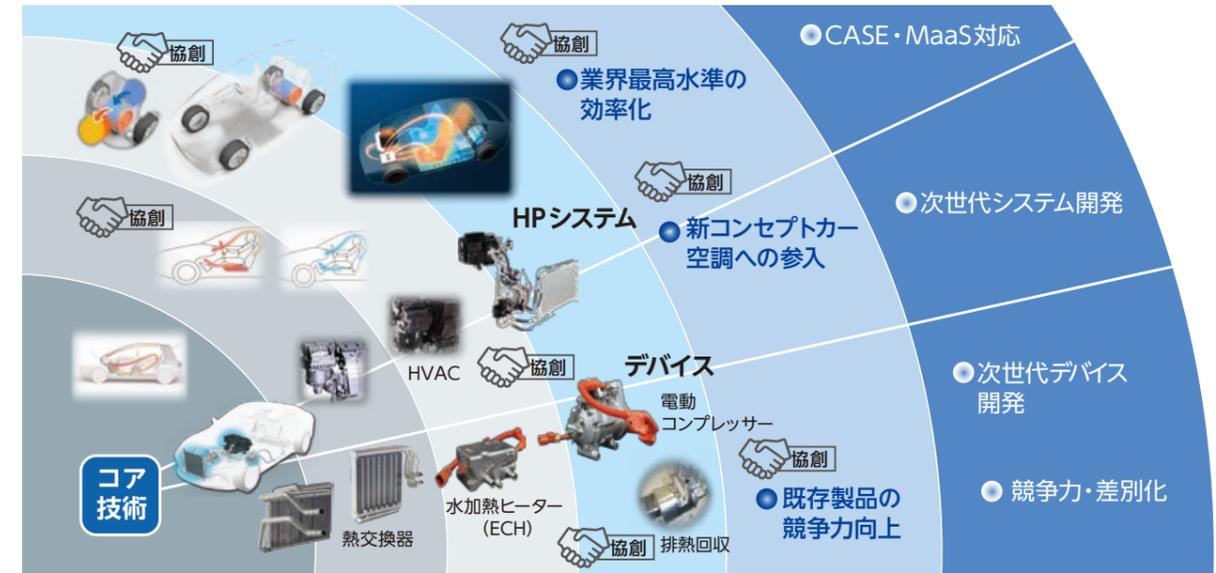
- モーター/インバーターの排熱回収によるエネルギー有効活用
- 最適な冷却/加温によるバッテリー性能の向上
- 高効率ヒートポンプと小型軽量水加熱ヒーター
- 空調その他冷熱機器全体の最適な熱制御と快適性の提供

CO₂の排出量削減は地球規模の課題です。そのためには地球規模で電気自動車(以下、EV)の普及・拡大を図ることが重要です。しかし、電気自動車はエネルギー効率が課題となっています。統合熱マネジメントシステムにより、車両で発生・回収した熱や冷気を緻密に制御し、業界最高水準の効率で航続距離を延ばすことが可能になります。サンデングループは統合熱マネジメントシステムに注力し、世の中の課題解決に貢献します。

積極的な「協創」による技術開発と社会貢献



「統合熱マネジメントシステム」領域 【2019年度実績】▶将来に向けての協創を検討中



コンプレッサーや熱交換器に代表されるデバイス、デバイスの組み合わせによるエアコンシステムやヒートポンプシステム、これらのシステムを高度化した次世代システム開発、新たな価値を生み出すCASE、MaaS対応の3つの領域が、当社の成長を支えます。これらの全てを最適に制御することにより、現在課題となっているEVの航続距離を延ばし、環境にやさしい技術の開発を通じて、社会に貢献していきます。

「環境と産業の矛盾なき共存」によるSDGs達成への貢献



サンデンフォレストは2002年の竣工以降、「環境と産業の矛盾なき共存」の理念のもと、2008年にSEGES Excellent Stage3を取得。以降、継続した活動を進め、2020年には最高評価ランクである「緑の殿堂」に認定されました。サンデンフォレストの理念はESG経営そのものであるとの評価をいただいています。